

国土交通省 近畿地方整備局 和歌山工事事務所 紀南工事事務所 紀伊丹生川ダム調査事務所 和歌山港湾工事事務所
記者発表

発表日	平成14年4月5日
発表時刻	10時及び11時

件名	平成14年度 事業概要について
----	-----------------

概要	近畿地方整備局における和歌山県下4事務所による、平成14年度の事業概要について、別添のとおり、発表致します。
----	--

取り扱い	-----
------	-------

発表時刻及び発表場所	10時 和歌山県政記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ
	11時 和歌山県地方新聞記者クラブ

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山工事事務所
	TEL 073-424-2471
	副所長(河川) 松村 肇 (内線 204)
	副所長(道路) 森下 康司 (内線 205)
	国土交通省 近畿地方整備局 紀南工事事務所
	TEL 0739-22-4564
	副所長 小畑 直樹 (内線 204)
	国土交通省 近畿地方整備局 紀伊丹生川ダム調査事務所
	TEL 0736-34-1911
	調査設計課長 時岡 真治 (内線 351)
国土交通省 近畿地方整備局 和歌山港湾工事事務所	
TEL 073-422-8186	
副所長 菅谷 幹夫 (内線 11)	

平成14年度予算の概要（和歌山県内）

近畿地方整備局 和歌山工事事務所

平成14年度予算については、平成14年3月27日に成立しました。和歌山工事事務所の予算（事業費「和歌山県内」）については下記の通りです。

（単位：百万円）

会 計 名	H13年度当初(A)	H14年度当初(B)	前年度比(B/A)
一 般 会 計	—	24.0	—
治水特別会計	5,347.9	4,308.4	0.81
道路整備特別会計	18,130.1	18,663.2	1.03
和歌山工事事務所(和歌山県内)合計	23,478.0	22,995.6	0.98

【注】上表のほか調査費（河川事業調査費・河川総合開発事業調査費・道路事業調査費）等の予算があります。

平成14年度 事業概要のポイント

◆ 河 川 事 業

- ・紀の川大堰建設事業の管理設備等の整備を完了させ、平成15年度より堰の暫定運用を開始します。
- ・橋本川に架かる御殿橋の架替えに着手します。

1. 紀の川大堰 [予算額 2,700百万円]

○紀の川大堰（和歌山市）の管理設備等の工事及び北田井ノ瀬橋架替工事を推進します。
なお、平成14年度に管理設備等の整備を完了させ、平成15年度より堰の暫定運用を開始します。

2. 紀の川改修 [予算額 695百万円(和歌山県内 360百万円)]

○橋本川改修工事に伴う御殿橋の架替えに着手します。

3. 内川浄化 [予算額 135百万円]

○有本揚排水機場（和歌山市）から、紀の川の水を安定して取水できる施設の整備を推進します。

4. 河川維持修繕 [予算額 1,077百万円(和歌山県内1,020百万円)]

○紀の川全川（国土交通大臣が管理を行う区間）の堤防除草と塵埃除去並びに貴志川河床整正等を実施します。また、堤防除草の刈草のリサイクルとして腐葉土による有効利用の促進を図ります。

◆ 道 路 事 業

- ・和歌山北バイパスは、平成15年春の供用をめざし、残る工事を鋭意進めます。
- ・早期供用が求められている京奈和自動車道橋本道路の工事を推進します。
- ・平成13年度より事業化している「大和街道環境整備」(24号・橋本市)の御殿橋架替えに着手します。
- ・渋滞対策や歩行者・車輛の安全対策を図るため、交差点改良事業等を推進します。

1. 改 築 事 業

◇高規格幹線道路

一般国道24号・橋本道路 [予算額 9,400百万円]

○残る用地買収を促進するとともに、1工区において改良工事を推進するとともに、橋本高架橋の下部工事に着手します。また、橋本ICの改良工事、2工区の高野口町域の改良工事を進めます。

一般国道24号・紀北東道路、紀北西道路 [予算額 700百万円]

○紀北東道路は、予備設計を進め、地元設計協議を実施します。

○紀北西道路は、引き続き猛禽類をはじめとする自然環境調査等、調査設計を実施します。

◇地域高規格道路

一般国道26号・和歌山北バイパス [予算額 3,920百万円]

- 用地買収を促進するとともに、残る補見高架橋上部工事、側道工事等を進めます。
- 和歌山北共同溝の本体工事の完成をめざします。
- さらに、参加型緊急交差点改良事業として、和歌山北バイパスの供用にあわせて26号和歌山市延時の交差点改良を進めます。

◇一般国道二次改築

一般国道24号・和歌山バイパス [予算額 180百万円]

○引き続き、4車化に向け、紀州大橋の橋脚耐震補強を実施します。

一般国道24号・大和街道環境整備 [予算額 400百万円]

○橋本市中心市街地部の交通円滑化と沿道環境改善を図ることを目的として、平成13年度から事業化しています。御殿橋の架替えに着手します。

2. 維持修繕事業 [予算額 2,237百万円]

- 一般国道24号・26号・42号の区間の路面状況、道路構造物、法面、植栽等の点検パトロールを毎日行っています。
- 修繕工事としては、法面・防災工事、トンネル補修工事、橋梁補強工事を主に行います。

3. 交通安全対策事業 [予算額 730百万円]

○歩行者、通行車輛の安全確保と渋滞対策として、42号海南市冷水、日高町内原の交差点改良を進めます。

4. 電線共同溝事業 [予算額 422百万円]

○24号橋本市東家5～6丁目(L=400m)、及び和歌山市北新1丁目～東旅籠町(L=410m)の整備を行います。

5. 沿道環境改善事業 [予算額 288百万円]

○42号和歌山市紀三井寺～医大前(L=800m)の区間の低騒音舗装を行います。

【紀の川大堰】



(平成14年3月撮影)

【橋本川改修】

※中央手前が御殿橋



(平成13年4月撮影)

〔橋本道路〕



(平成13年10月撮影)

〔和歌山北バイパス〕



←「楠見高架橋」

(平成13年10月撮影)



↑「紀の国大橋」

(平成13年10月撮影)

平成14年度供用予定箇所整備効果

和歌山北バイパス

事業概要

和歌山北バイパスは、紀の川渡河部における交通混雑の緩和を図るとともに、地域高規格道路である第二阪和国道の一部を形成する区間として、地域の活性化に寄与する事を目的とした一般国道26号の和歌山市大谷から同市元寺町に至る延長2.2kmの4車線のバイパスです。

整備効果

○交通渋滞の緩和

朝・夕のラッシュ時には紀の川渡河部において、慢性的な渋滞が発生しています。

整備後、現道の交通量が和歌山北バイパスの新南海橋(仮称)にも分担され、紀の川渡河部の交通渋滞が軽減されます。

《整備前》 紀の川右岸地域の交通が紀ノ川大橋、北島橋に集中。



《整備後》 和歌山北BPの供用により、新南海橋(仮称)にも交通が転換し渋滞が緩和。

